
会員専用ページ（マイページ）開設のお知らせ

この度、インターネットから皆様の登録内容の確認・変更や、会費納入状況の照会ができる「マイページ」を開設する運びとなりました。つきましては、下記の利用案内をご参照のうえ、ご自身の登録内容の確認と修正をお願いいたします。

■マイページへのログイン手順

- 1) 学会HP (<https://iap-jp.org/orjs/mypage/login/login>) からアクセスする。
- 2) ログイン画面に、会員番号8桁（半角）とパスワード8桁（半角）を入力してログインする。
- 3) ログイン後はメインメニューから「登録内容の確認・変更」等を選択し、ご利用ください。

■パスワードについて

パスワードは上記の手順でログインした後、「パスワードの変更」画面にて各自変更することができます。パスワードがわからなくなった場合には、ログイン画面下の「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックしてください。その際、メールアドレスが登録されている必要があります。

尚、個人情報の為、お電話でのパスワードのお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

■登録内容の確認・変更の際の注意

1. 住所について

住所変更があった場合、また政令指定都市への移行や市町村合併等で住所表記が変わった場合は、必ず変更をお願いします。マイページから変更される場合は、数字やハイフンは半角で入力してください。また、外字、ギリシャ数字、機種依存文字は文字化けしますので使用しないでください。

*会員情報の変更に伴い「郵送物送付先」「請求書送付先」に変更がある場合は、送付先変更も忘れずをお願いいたします。

(機関誌の郵送先変更は毎月20日までの登録修正分が有効となり、新住所へ送付されます)

2. メールアドレスについて

メールアドレスをお持ちの方はできるだけ登録いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

また、メールアドレスを登録されている方は、再度、登録アドレスの確認をお願いいたします。

今後はご登録いただいた送付先メールアドレスに、学会からのご案内をお送りさせていただきます。

3. 氏名・会員種別の変更は、マイページではできませんので、改姓や学生会員からの変更等の場合は、事務局までメールでご連絡ください。

4. 無料学生会員への機関誌送付は2020年度末で終了します。

機関誌送付希望者は有料学生に変更し、年会費（5,000円）が必要となります。

変更を希望される場合は、事務局までご連絡ください。

*退会のご連絡は

- ①会員番号、②氏名、③退会理由

をご記入の上、メールにてお知らせいただけますようお願いいたします。

E-mail: jimukyoku@orjs.or.jp

● 2021年度定時総会開催

定款第14条の定めにより、2021年度定時総会を下記の要領で開催いたします。代議員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、総会の議決権は代議員のみですが、正会員は出席し意見を述べることができます。出席される場合は、事前に事務局にご連絡下さい。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

日 時：2020年4月27日(火) 17:00～

場 所：オンライン会議

総会次第：

- 第1号議案 2020年度事業報告の件
- 第2号議案 2020年度決算報告及び監査報告の件
- 第3号議案 2021-2022年度新役員承認の件
- 報告1 2021年度事業計画
- 報告2 2021年度収支予算

● 2021年秋季シンポジウム (第85回)

日 程：2021年9月15日(水)

場 所：九州大学西新プラザ (予定)

実行委員長：藤澤克樹 (九州大学)

● 2021年秋季研究発表会

日 程：2021年9月16日(木)～17日(金)

場 所：九州大学伊都キャンパス (予定)

実行委員長：古川哲也 (九州大学)

● 日本OR学会賞副賞金の改定について

2016年度表彰より副賞金の増額を決議しましたが、本措置は2021年度までの暫定としていたことから、理事会にて見直しの議論を行いました。ここ数年来厳しい財政難の状況に陥っており、緊急課題として大幅な支出削減を迫られていました。そこで、慎重な議論を経て検討した結果、2021年秋季研究発表会にて表彰される各賞より、副賞金を0円とすることが決定されました。対象となる賞は、研究賞、研究賞奨励賞、論文賞、業績賞です。なお、近藤賞については、近藤賞基金として管理されていることから、変更なしとします。今後も一層の経費節減に努め、財政状況の改善が見られた場合には、再度、改定を行うこといたします。

● 2021年度新設研究部会紹介

〔最適化手法とアルゴリズム (SOMA)〕

本研究部会では、最適化手法及びアルゴリズムの理論や応用に関して、さまざまな分野の研究者との交流や活発な議論を目指します。年間を通して、セミナーや研究発表会などを企画いたします。

〔流動の数理〕

日常生活において必要不可欠なヒト・モノ・金・情報などの流動を対象として、それらを支えているハード的なインフラストラクチャーとソフト的なインフラストラクチャーともいえる制度や運用方法に関する研究を行う。

〔危機管理と公衆安全〕

本研究部会では、災害などの脅威への対処方策である危機管理と、これを未然に防ぎ公共・公衆の安全を実現するための方策を文理融合的に議論し、学際的な見地からの学術活動を推進する。

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第294回

日 時：令和3年4月17日 14:00～17:00

場 所：オンライン

テーマと講師：

- (1) 「脳神経システムの数理モデリングとデータサイエンス」
小林亮太 (東京大学)
- (2) 「配送センターの受注量過程の推定」
高田寛之*、高橋拓渡、松永昭一 (長崎大学)

● 協賛・後援案内

* OR学会が協賛・後援するイベントの情報です。詳細は主催者へお問い合わせください。

・第18回 (令和3 (2021) 年度) 「日本学術振興会賞」受賞候補者推薦要項

1. 対象分野

人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野

2. 授賞

授賞数は25名以内とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として研究奨励金110万円を贈呈します。

3. 対象者

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他

の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと思われる者のうち、令和3（2021）年4月1日現在以下の1）から3）の条件を満たす者とします。

- 1) 次のa) 又はb) を満たすこと。
 - a) 日本国籍を有する者（海外在住の日本国籍を有する研究者を含む）
 - b) 外国人であって我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属しており、今後も継続して我が国で研究活動を予定している者
- 2) 45歳未満であること
- 3) 博士の学位を取得していること（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む）

4. 推薦権者

- 1) 機関長推薦 我が国の大学等研究機関又は学協会の長
- 2) 個人推薦 優れた研究実績を有する我が国の学術研究者（海外在住の日本国籍を有する学術研究者を含む）

※自薦は受け付けません。

5. 受付期間

令和3（2021）年3月31日（水）～4月5日（月）
17:00（必着）

6. 応募方法

日本学術振興会賞の推薦は電子申請システムを通じて受け付けます。電子申請システムに登録（アップ

ロードを含む）を行うとともに、一部資料については紙媒体で提出してください。書類の作成にあたっては、本事業のウェブサイトに掲載している「提出書類の記入要領」及び「Q&A」を参照してください。

・本事業ウェブサイト

<https://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1

独立行政法人 日本学術振興会

人材育成事業部 研究者養成課 「日本学術振興会賞」担当

TEL：03-3263-0912

Email: jsps-prize@jsps.go.jp

・公益社団法人精密工学会 第414回講習会「製造現場でのIoT活用術—今日から始めるひと工夫—」

日時：2021年5月24日（月）～2021年5月30日

詳細URL：<http://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/414.pdf>

訂正とお詫び

本誌3月号におきまして、表紙に掲載された論題の一部に誤りがございました。正しくは、『管理工学科における人間システム工学分野の役割と展望』となります。関係者各位にお詫びするとともに訂正させていただきます。

● 2021年度用研究部会・グループ一覧

常設研究部会

A	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	河西憲一 (群馬大学) kawanisi@cs.gunma-u.ac.jp	木村達明 (大阪大学) kimura@comm.eng.osaka-u.ac.jp
2	数理計画 (RAMP)	吉瀬章子 (筑波大学) yoshise@sk.tsukuba.ac.jp	高野祐一 (筑波大学) ytakano@sk.tsukuba.ac.jp
3	評価のOR	杉山 学 (群馬大学) sugi@gunma-u.ac.jp	趙 宇 (東京理科大学) yu.zhao@rs.tus.ac.jp
4	意思決定法	飯田洋市 (諏訪東京理科大学) youichi.iida@gmail.com	大山口菜都美 (秀明大学) p-oyamaguchi@mailg.shumei-u.ac.jp
5	サプライチェーン戦略	加納政志 (株式会社日立製作所) masashi.kano.ry@hitachi.com	草刈君子 kimiko.kusakari@nifty.com

研究部会

B	部 会 名	主 査	幹 事
1	ヘルスケアのOR	高木英明 (筑波大学) takagi@sk.tsukuba.ac.jp	小笠原 悠 (東京都立大学) ogayu@tmu.ac.jp 阪口昌彦 (大阪電気通信大学) sakaguchi@osakac.ac.jp
2	超スマート社会のシステム デザインのための理論と応用	牧野和久 (京都大学) makino@kurims.kyoto-u.ac.jp	山口勇太郎 (九州大学) yutaro_yamaguchi@inf.kyushu-u.ac.jp 森本 陽 (三菱重工(株)) yo_morimoto@mhi.co.jp
3	動的決定モデルとその応用	來島愛子 (上智大学) kurushima@sophia.ac.jp	吉良知文 (群馬大学/九州大学IMI) a-kira@si.gunma-u.ac.jp
4	信頼性とその応用	岡村寛之 (広島大学) okamu@hiroshima-u.ac.jp	鄭 俊俊 (立命館大学) jzheng@asl.cs.ritsumeit.ac.jp
5	エネルギーシステムの進化 とOR	所 健一 (一般財団法人電力中央研究所) tokoro@criepi.denken.or.jp	宇田川佑介 (株式会社 構造計画研究所) yusuke-udagawa@kke.co.jp
6	データドリブンマーケティング	横山 暁 (青山学院大学) yokoyama@busi.aoyama.ac.jp	朝日弓未 (東京理科大学) asahi@rs.tus.ac.jp 大竹恒平 (東海大学) otake@tsc.u-tokai.ac.jp
7 ☆	最適化手法とアルゴリズム (SOMA)	谷川真一 (東京大学) tanigawa@mist.i.u-tokyo.ac.jp	伊藤 勝 (日本大学) ito.m@math.cst.nihon-u.ac.jp
8 ☆	流動の数理	鳥海重喜 (中央大学) toriumi@ise.chuo-u.ac.jp	稲川敬介 (秋田県立大学) inakawa@akita-pu.ac.jp
9 ☆	危機管理と公衆安全	鶴飼孝盛 (防衛大学校) ukai@nda.ac.jp	佐久間 大 (防衛大学校) sakuma@nda.ac.jp

研究グループ

C	グループ名	主 査	幹 事
1	地域課題解決のOR	鈴木 勉 (筑波大学) tsutomu@risk.tsukuba.ac.jp	石井儀光 (国土交通省国土技術政策総合研究所) ishii-n92gb@mlit.go.jp
2	量子コンピュータと次世代 計算機活用	大輪拓也 (九州工業大学) ohwa@mns.kyutech.ac.jp	矢実貴志 ((株)NTT データ) Takashi.Yazane@nttdata.com

☆は2021年度新設

2021年度第1回ORセミナー『量子コンピュータと次世代計算機活用』

開催趣旨: 量子コンピュータや量子アニーリングマシンを開発・活用する企業の方を講師にお招きし、ハードウェアの仕組みや、最新の話題、活用事例についてご紹介いただきます。

日時: 2021年6月7日(月) 12:30~17:20 (12:15~ Zoom入室可能、接続テストを行います。)

会場: Zoomによるオンライン開催 (申込でご登録のメールアドレスへZoom接続情報をご連絡いたします。)

コーディネーター: (株)日立製作所 野本多津

司会: (株)NTTデータ 矢実貴志

定員: 90名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

12:30~12:40 **開会の挨拶**

九州工業大学 大輪拓也

12:40~13:40 **セッション1「AWSのフルマネージドな量子コンピュータ Amazon Braket」**

講師: アマゾンウェブサービスジャパン(株) 宇都宮聖子

Amazon Braketは、AWSで簡単に量子コンピュータのコーディングをスタートできるフルマネージドな量子コンピュータサービスです。Amazon Braket Python SDKを使って、IonQ, Rigetti, D-Waveといった量子ハードウェアQPUにアクセスすることができます。本セッションでは、Amazon Braketの特徴と、クラウドによる量子コンピュータ提供によって期待される展望をお話します。

13:50~14:50 **セッション2「NECにおける量子コンピューティング技術開発」**

講師: 日本電気(株) 白根昌之

NECは1999年に世界で初めて固体素子量子ビットの動作実証に成功して以来、20年以上にわたり超伝導量子コンピューティングの研究開発を継続しています。本発表では、NECの量子アニーリングマシンを含む世界のHW開発状況に加え、NEC製ベクトル機によるシミュレートドアニーリングマシンの組合せ最適化課題への適用事例を紹介いたします。

15:00~16:00 **セッション3「量子アニーリングと数理最適化の融合」**

講師: (株)シグマアイ 大関真之

量子揺らぎを用いた組合せ最適化問題の解法として量子アニーリングが注目を集めています。その実現を果たした量子アニーリングマシンも大規模化が進み、実問題への適用が期待されるフェーズに突入しています。ただこれまでの数理最適化手法も活用することで、より多くより正確により速く問題を解く方法が開発されています。最近提案された手法を紹介することで数理最適化との融合可能性について議論いたします。

16:10~17:10 **セッション4「万能量子コンピュータを用いた量子化学計算・物性シミュレーション」**

講師: (株)QunaSys 中川裕也

万能量子コンピュータの産業応用先として最も注目されている分野の一つである量子化学計算・物性シミュレーションについて紹介します。特に、この数年で急速に大規模化・高精度化が進みつつあるNoisy Intermediate-Scale Quantum (NISQ) デバイスという種類の量子デバイスを用いた計算アルゴリズムに関して詳しく述べます。講演では、量子化学計算・物性シミュレーションの基礎となる量子系のシミュレーションという問題を解説し、それが万能量子コンピュータやNISQデバイスを用いてどのように効率的に解けるのかを紹介します。

17:10~17:20 **閉会の挨拶**

NTTデータ先端技術(株) 中川慶一郎

参加費 (電子テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円。 ※参加費の返金には応じられない旨、ご了承ください。

※紙テキストをご希望の方は、印刷製本・発送の費用をご負担いただくことで対応いたします。

申込および支払方法: OR学会WEB「ORセミナー」<http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>からお申し込み・お支払いください。

申込および支払締切: 2021年5月14日(金)

協賛学会 (交渉予定): 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsrpim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

お知らせ: 非会員と学生非会員の方がご参加いただいた場合の入会特典は、終了させていただきました。

問合せ先: OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

2021年度年会費納入のお願い

2021年度（2021年3月1日～2022年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。支払取扱票は、2021年1月以降もご使用可能です。

請求書が必要な場合は、必要事項（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）、請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）をメールにて事務局へご連絡ください。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月です。

年会費の口座振替日変更のお知らせ

年会費自動振替の方は2021年2月22日(月)に引き落とししました。

2021年3月で卒業の学生会員の方へ

- 1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。
- 2) 退会希望の方へ
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、メールにて事務局へご連絡ください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

- 1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。
 - ①WEBからの入会申込み
 - ②入会金600円のお振込み
 - ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）
 以上3点をもって、無料化受付が完了します。
- 2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。
- 3) 機関誌送付希望者は有料学生に変更し、年会費（5,000円）が必要となります。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 シヤ）ニホンオペレーションズリサーチガッカイ
郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会
ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担でお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。
*所属機関からお支払の場合は、対象の個人会員名と所属機関を事務局にお知らせください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

OR学会事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100 FAX: 03-3851-6055
E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
*各種変更はマイページをご利用ください。変更できない項目や退会届はメールにてご連絡ください。